



2018・9・1

第 316 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

署名広げ 臨時国会に自民改憲案出させない

「参院選前に国民投票」も表明

【自民党総裁選】 安倍首相は8月27日、自民党総裁選で安倍首相支持を決めた麻生派顧問の甘利明元経済再生担当相らと会い、来年の参院選前に憲法改定の国民投票を実施するよう求める同派の政策提言を受け取りました。安倍首相は、「基本的考えは同じだ」と、従来の「次の国会に自民党の改憲案を提出すべきだ」という考えをさらにエスカレートさせる発言をおこないました。

安倍首相はそのため9月7日告示、20日投票の自民党総裁選を改憲論議盛り上げの場として最大限悪用しようとしています。すでにいま自民党内で配布されている安倍首相の政策ビラ「責任、実行。平成のその先の時代へ」では、「自衛隊の明記、教育無償化など先の衆院選で公約した4項目につき、次の国会に自民党としての憲法改正案を提出できるよう、党を挙げて取り組み、早期の発議をめざす」としています。

北「これまでにない脅威」変えず

【防衛白書】 安倍内閣は28日の閣議で

2018年版『防衛白書』を了承しました。最大の特徴は北朝鮮の核・ミサイル開発について「これまでにない重大かつ差し迫った脅威」とし、6月の米朝首脳会談以降も「基本的な認識に変更はない」としていることです。北朝鮮が6回目の核実験をおこなった17年の表現と同じです。

また中国軍の動向については「地域・国際社会の安全保障上の強い懸念」との評価をおこなっています。

安倍内閣退陣を求めデモ行進

【岩手県／市民アクション】 「安倍9条改憲No.！全国市民アクション岩手の会」は20日夕、盛岡市で9条改憲阻止や安倍政権退陣を求めるデモ行進に取り組み、100人が参加しました。

出発前に憲法改悪反対県共同センターの金野耕治事務局長は「沖縄の故・翁長雄志知事は命をかけて米軍新基地を造らせなかった。私たちは遺志を受け継ぎ知事選で『オール沖縄』が勝利するように、奮闘しよう」と訴えました。

共産党の斉藤信県議、社民党の小西和子

県議が紹介され、決意を表明しました。

参加者らは「安倍内閣は総辞職せよ」「辺野古新基地反対」「みんなの政治を私物化するな」とコールしながら、繁華街を行進しました。

通行人の男性が「がんばって」と激励するなど、沿道の注目を集めました。

沖縄・辺野古と連帯し安倍退陣めざす

【高知県／憲法アクション】 高知憲法アクションは17日、高知市の中央公園北口で19日行動の集会を開きました。約70人が参加、商店街をデモ行進しました。

呼びかけ人の田口朝光氏が基調報告し、沖縄県知事選について「争点は辺野古の新基地建設を許すかどうかだ。なんとしても勝たないといけない」とのべました。安倍首相が次の国会に自民党の改憲案を提案すると表明したことを批判。3000万人署名の推進を呼びかけ、「安倍内閣を退陣に追い込み、9条改憲を許さない大きなたたかいをやっつけよう」と訴えました。

リレートークで「手をつないで平和な愛に満ちた日本にしていこう」（宗教者）、「署名で安倍政権が戦争に向かうのを止めよう」（3000万人署名に取り組む女性）などの発言がありました。

参加した男性（77）は「軍事費を増やして社会保障をないがしろにする安倍政権にはやめてもらいたい」と話しました。

3000万達成が安倍改憲阻止の保障

【山梨県／総がかり行動実行委員会、市民アクション】 総がかり山梨行動実行委員会と山梨市民アクションは19日、

甲府市で「安倍9条改憲NO！3000万署名ステップアップ集会」を開き、共産党、社会民主党など野党の代表と市民ら約100人が参加しました。

主催者あいさつで山梨市民アクション共同代表の爾松拓真弁護士は「安倍政権のもとで憲法は変えるな、という声を広げ、発議させない力となる署名を積み上げていきましょう」と呼びかけました。

全労連副議長の長尾ゆりさんが講演し、通常国会の憲法審査会で改憲案が審議されなかったことに触れ「市民の運動と野党のがんばりが安倍改憲スケジュールを追い詰めてきた。3000万人を集めきることが改憲を止める最大の保障」と強調しました。

経験交流で平和センターの公務労組代表は「長尾さんの話を聞いて署名が大きな成果として動いていることを実感した。このことを地域の人に伝えていきたい」と発言しました。

宮沢由佳参院議員（無所属）が国会報告し、立憲民主党やまなしから連帯のメッセージが寄せられました。

改憲案の国会提出を許さない闘いを

【兵庫県尼崎市／立花9条の会など】 尼崎市のJR立花駅2階南回廊で19日夕、3000万人署名・宣伝活動が行われました。立花9条の会など14人が参加し、34人分の署名が寄せられました。

参加者は安倍首相が秋の国会に自民党の改憲案を提出する構えであることを明らかにしたことを紹介。なんとしても3000万人署名を集めよう、と呼びかけました。

買い物帰りの人が多く、「安倍さんはうそ

ばかり言うから大嫌いだ。頑張ってください」「安倍さんの声を聴くと吐き気がする」などといって署名に応じていました。

個人の思い込めスタンディング

【新潟市】新潟市役所前で21日朝8時すぎ、「NO！9条改憲」「戦争法廃止！」などの自作のプラカードを掲げて立つ市民の姿がありました。この行動には組織も団体名ありません。参加者の一人で弁護士の工藤和雄さんは、「3年前、弁護士有志で『戦争法案反対』を掲げて、毎週火曜と金曜に市役所前に立ったのが始まりです。それくらい3年間、毎週火曜日の朝に立っています」と話しました。

昨年7月から参加している佐藤範子さんは、「完全に個人の思いだけでここに立っています。大学病院や市役所、高校が近くにあるため、市の職員さんや高校生がよく見ていく」と話します。石山謙一郎さんは、今年の3月からの参加。「安倍政権が続く限りは9条改憲の危機が続いていく。せめてもの抵抗のつもりです」と話しました。

工藤さんは「最初は9条の会ののぼりを立てていたけど、参加する個人個人の思いを尊重して引っ込めました。プラカードは戦争法案反対から9条改憲反対に変わりましたが、気持ちは同じです。時折、『頑張っ』『ご苦労さま』と言われるのがうれしい。続けていきたい」と話しています。

「明治150年」を共に語り合う

【岐阜市／岐阜・九条の会、市平和資料室友の会など】岐阜で「戦争と平和『明治150年』を考えるつどい」がこのほど2

日間行われ、のべ1000人が参加しました。主催は、岐阜・九条の会、岐阜市平和資料室友の会、3・11支援ネットワークなど42団体で構成する実行委員会。

共同代表の吉田千秋氏（元岐阜大学教授）は「明治150年は、祝賀行事ではなく、150年の戦争と平和の流れをリアルに見つめることが大切。明日の平和へ向けて共に語りあう機会にしよう」とあいさつしました。

オープニング企画で、フォトジャーナリストの中村悟郎氏（元岐阜大学教授）が「戦後日本の光と影、ベトナム戦争から考える」と題して講演。ベトナム戦争でアメリカが使った化学兵器―枯れ葉剤の悲劇を写真で紹介し、ベトナムは日本から原発は買わないと決め、風力・太陽光などの発電に切り替えたと指摘。「戦争となれば原発が狙われるのは常識。日本は原発再稼働でなく全廃を」と語りました。

ほかにも「満州黒川開拓団の歴史」「731部隊の犯罪事実と戦争責任」など、証言インタビューが連日行われました。

展示会場では「戦争の悲劇」「原爆と原発」「沖縄の150年」などの写真や現物が展示されました。

後々の世代につらい思いさせない

【甲府市／朝日9条の会、千塚9条の会】朝日、千塚の両9条の会は25日、甲府市で戦争体験・憲法を語り合う会を開き、40人が参加しました。

元中学校長の石原孝徳さん（82）＝甲府市千塚在住＝が山梨県の開拓団の一員として満州から引き揚げた体験を語り、「戦争で死ぬのは兵器で殺されるより、病気や飢え

が圧倒的。9割がそうだ。つらかった記憶があるから本当は話したくないが、2度と戦争を起こさせないために伝えていきたい」と話しました。

甲府共立病院医師の鎌田康弘さん(29)は医療者の立場から平和を語りました。病院職員ら40人が参加して平和部をつくり、平和のフィールドワークに取り組んでいることを紹介。「若者は自分たちの心を動かすキッカケがあったり、活動して楽しくなることで長続きする。後々の世代につらい体験をさせない、平和の世の中を引き継いでいくために頑張りたい」と話しました。

夏休みを利用して戦争と平和について学ぼうと学生3人で参加した看護学校2年生の岩間綾乃さんは「戦争の悲惨さを聞くことができ、日本が加害者であったことを知りました。9条が改正される危機のなか、戦争体験をみんなが共有し平和は何かを考えていきたい」と感想を語りました。

国会前集会に参加して

【千葉県松戸市／小金原憲法九条の会】

6月10日(日)「安倍政権を終わらせる」市民と野党の国会前集会が行われた。久しぶりに参加しました。北小金の駅に行ったら既に20人くらい集まっていた。霞ヶ関駅に着いたら雨は土砂降りになっていました。みんな覚悟して来たようで、雨合羽に大きな傘で完全武装でした。上から見たら紫陽花の花が満開のように見えるだろうと思った。人の波で途中何人かがはぐれてしまい再び会うことは出来なかった。

ウソ政治・セクハラ・過労死・改憲NO…民主主義壊すな…と降りしきる雨の中、各団体の市民のスピーチに耳を傾け、誰も帰る人もなく” そうだそうだ”と呼応していた。聞く人心に届くスピーチが続いた。

共産党の小池晃氏は福田元首相が朝日新聞で”果てなき議論の責任は、追及する野党の側にあるのではない。原因を作った政府が責任をもって解決すべきだ”と報じている事を紹介、「その通りです。ウソをつく政治はもう終わりにさせましょう」と。そして「安倍首相のウソを隠ぺいするために、みんな無理なことを言い出した」と言われたところが深く心に残った。

安倍政権によってもたらされる様々な悪政に対する怒りが日本中に広がって日に日に大きな塊となってきたと感じた。

最後にマイクに合わせて、わたし達の暮らしを経済的に逼迫させたり、平和を脅かしたり不安にさせたりする様々な事案を声にしてとどろかせました。A・大澤

(「小金原九条の会」18年7月)

同封されたお便り…先日は九条の会からの文書ありがとうございました。世話人会で紹介し、何とかがんばっていこうと語り合いました。「九条の会」のニュース、読んで指針にしています。これを見て、私たちのやり方でいいんだねと確認することも多いです。なにぶん年齢も高くみんな“アナログ人間”なので、九条の会に活動を伝えることはできませんが…。3000万人署名は5月末で1071筆、地域の総がかりに届けました。“安倍9条改憲に終止符を”のおもいでがんばります。

小金原憲法九条の会 佐藤、西宮